

# 視聴覚ライブラリー

こども園・保育所・学校関係・社会教育関係者に対して、視聴覚教材(フィルム、機器)の貸出をしています。

## 新着情報!

### ■令和5年度に購入したDVD■



#### 【小学生向け】

### 「情報モラルを身につけよう！」 小学生のスマホの安全な使い方教室」 (1巻/自分の相手も傷つけないために)

(上映時間 21分)

『そうた』と『ゆい』は、スマホが大好きな小学生の兄妹。公園で『そうた』がスマホをいじりながら歩いていたところ、『はるか先生』とぶつかってしまいます。「歩きスマホはダメ」と注意された『そうた』は、「この怒られているところを1枚…」と『はるか先生』とのツーショットを勝手に自撮りします。スマホのマナーがわかっていない『そうた』と『ゆい』に『はるか先生』はスマホの安全で正しい使い方を教えていきます。

①スマホのマナー ②会って大丈夫? ③相手の事情 考えてる?

#### 【中学生・高校生向け】

### 「ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島」

(上映時間 35分)

1945年、原爆が投下されて2か月。焦土の風景と苦しむ被爆者は日本人の手によって撮影されました。当時、日本映画社のスタッフが撮影したフィルムには治療を受ける人々や医師と看護師、焼き尽くされた建物、ガレキに埋まる町の様子が映し出されています。このフィルムは1946年「広島・長崎における原子爆弾の効果」という映画となって海を渡り、米軍の教材となりました。現存する未編集フィルムはハイビジョン処理され、これまでより詳細な状況が確認できるようになりました。この作品では、映された映像と現在の場所を対比。過去と現在、戦争と平和、あるいは当時の記憶を蘇らせる作品となっています。

